九州地方

名前

問1　日本の諸都市の気象データにおいて、一月の平均気温が十度前後と高く、かつ七月の月降水量が三百五十ミリメートルを超える非常に多い降水量を示す都市として、最も適切なものはどれですか。（2023年 福井県公立入試 類似）

1. 大阪市
2. 札幌市
3. 金沢市
4. 宮崎市

問2　九州地方に位置するある県の農業統計を確認すると、農業産出額の総計が全国でもトップクラスであり、品目別の内訳では米や野菜の金額に比べて、肉用牛や豚、鶏などの「畜産」の金額が突出して高いという特徴があります。この県として正しいものを選んでください。（2020年 鳥取県公立入試 類似）

1. 千葉県
2. 鹿児島県
3. 愛知県
4. 新潟県

問3　北西から南東に向かって緩やかに標高が低くなっている台地において、地形の特徴に合わせた一般的な土地利用の説明として正しいものはどれですか。（2020年 静岡県公立入試 類似）

1. 標高の高い台地の上は果樹園として一律に利用され、標高の低い場所はすべて森林として残される。
2. 標高にかかわらず、北西側は冬の季節風を避けるために住宅地となり、南東側はすべて畑として利用される。
3. 標高の高い台地の上は水が得やすいため田として利用され、標高の低い谷底の平地は浸水の危険があるため畑として利用される。
4. 標高の高い台地の上は水が得にくいため畑として利用され、標高の低い谷底の平地は水が得やすいため田として利用される。

問4　日本国内にあるアメリカ軍の専用施設の面積のうち、約７０パーセントが集中して置かれている都道府県はどこですか。（2023年 北海道公立入試 類似）

1. 鹿児島県
2. 神奈川県
3. 長崎県
4. 沖縄県

問5　沖縄県における河川の状況と水資源に関する記述として、統計的な事実や地理的特徴に基づいた正しいものを選びなさい。（2020年 静岡県公立入試 類似）

1. 大規模な平野部を流れる長大な河川が多く、古くから水田稲作が盛んに行われてきた。
2. 全国平均と比べて河川の長さが極めて短く、雨水を安定して蓄えることが難しい地形である。
3. 河川が非常に緩やかに流れているため、海への流出に時間がかかり蒸発による損失が激しい。
4. 降水量が極めて少ない地域であるため、河川の流量が年間を通じて一定ではない。

問6　地形図において、標高の高い平坦な面である「台地」の部分に、アルファベットの「V」の字に似た地図記号が多数記されている場所があります。シラス台地におけるこの場所の状況を説明したものとして適切なものを選びなさい。（2020年 群馬県公立入試 類似）

1. 地力を高めるために、果樹の苗木を植えたばかりの果樹園になっている。
2. 雨水を溜めるための調整池が並ぶ、水田地帯になっている。
3. 水はけの良さを利用して、サツマイモや飼料作物などが栽培される畑になっている。
4. 火山灰の飛散を防ぐために、落葉広葉樹が植えられた森林になっている。

問7　九州の北西から日本海へ流れ込む対馬海流は、日本の気候、特に冬の日本海側の気象に大きな影響を与えています。この暖流が冬に大量の雪をもたらす仕組みを説明したものとして、最も適切なものはどれか。（2019年 埼玉県公立入試 類似）

1. 暖流によって海水が冷やされることで上昇気流が抑えられ、乾いた風が吹き抜ける際に、山地で急激に冷却されて結晶化した雪が降る。
2. 寒流と暖流がぶつかることで濃い霧が発生し、その湿った空気が季節風によって内陸へと運ばれることで雪へと変化する。
3. 暖流である対馬海流の上空で、大陸からの冷たく乾燥した季節風が水蒸気を蓄えて湿った空気となり、山脈にぶつかって雪を降らせる。
4. 対馬海流の影響で冬でも海面温度が下がらないため、低気圧が急速に発達しやすくなり、日本海沿岸にだけ局地的な大雨をもたらす。

問8　2022年の東京都中央卸売市場における菊の出荷状況において、3月の総出荷量は約3000万本で、そのうち沖縄県産は約1200万本と4割近くを占めています。一方、9月の総出荷量は同程度ですが、沖縄県産はわずか3万本にとどまっています。このように、沖縄県が冬から春にかけての出荷に特化している理由として、経済的な背景をふまえて説明したものを選びなさい。（2024年 広島県公立入試 類似）

1. 冬の温暖な気候を利用して暖房費などの生産費を抑えることで、遠方の消費地へ運ぶための高い輸送費を補い収益を上げている。
2. 本州の農家に比べて土地代が圧倒的に安いため、大規模な農地で生産を行うことで、輸送費の差を考慮しても十分な利益が出る仕組みになっている。
3. 冬場は航空運賃が安くなるため、その時期に合わせて集中的に出荷を行うことで、生産費と輸送費の合計を最小限に抑えている。
4. 夏の台風被害を避けるために冬の栽培に特化しており、余った労働力を夏場はサトウキビ収穫に集中させることで生産費を下げている。

問9　九州地方の北東部に位置し、別府や由布院といった日本を代表する温泉地がある大分県では、火山の熱エネルギーを直接利用した発電が行われています。この発電方法を何といいますか。（2025年 北海道公立入試 類似）

1. 水力発電
2. 風力発電
3. 地熱発電
4. 太陽光発電

問10　宮崎市などの九州地方太平洋側において、夏から秋にかけての降水量が福岡市などの日本海側と比べて著しく多くなる背景として、適切な理由の組み合わせはどれですか。（2023年 福島県公立入試 類似）

1. 暖流である黒潮の影響、南東からの湿った季節風、および台風の通り道にあたること
2. 寒流である親潮の影響、北西からの冷たい季節風、および梅雨前線の長期停滞
3. リマン海流の影響、日本海側から山を越えて吹き下ろす乾いた風、および移動性高気圧の通過
4. 対馬海流の影響、南西から吹く乾燥した季節風、およびシベリア高気圧の発達

問11　九州地方には阿蘇山や桜島などの活火山が多く存在しますが、これらの火山活動による地下の熱を利用した発電方法を何といいますか。（2026年 和歌山県公立入試 類似）

1. 地熱発電
2. 原子力発電
3. 火力発電
4. 水力発電

問12　宮崎県などで盛んな、ビニールハウスなどの施設を用いて作物の成長を早める「促成栽培」において、冬から春にかけての時期に出荷を集中させる主な理由として最も適切なものはどれですか。（2020年 静岡県公立入試 類似）

1. 他地域からの入荷量が多く市場価格が安定している時期に供給し、販売量を増やすため
2. 他地域からの入荷量が少なく市場価格が高い時期に供給し、農家の利益を高めるため
3. 春先の害虫被害を避けるために、収穫時期をあえて市場の需要が低い時期にずらすため
4. 冬の寒さを利用して作物の品質を向上させ、他の農産物との差別化を図るため

問13　九州地方南部の鹿児島県の大隅半島や薩摩半島、宮崎県の一部にかけて、火山の噴出物である火山灰などが厚く降り積もって形成された広大な台地を何と呼びますか。（2017年 大分県公立入試 類似）

1. カルスト台地
2. 干拓地
3. シラス台地
4. 扇状地